

貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	(14,971)	(負債の部)	(20,645)
流動資産	661	流動負債	19,886
預金	80	短期借入金	19,708
前払費用	109	未払金	9
未収金	472	未払法人税等	0
		未払費用	0
		前受金	167
固定資産	14,309	固定負債	759
有形固定資産	6,306	長期借入金	184
建物	6,291	資産除去債務	502
構築物	6	繰延税金負債	72
機械装置	5		
器具及び備品	2		
		(純資産の部)	(△5,674)
無形固定資産	0	株主資本	
ソフトウェア	0	資本金	100
		資本剰余金	220
		資本準備金	220
投資その他の資産	8,002	利益剰余金	△5,994
長期差入保証金	8,000	その他利益剰余金	△5,994
長期前払費用	2	繰越利益剰余金	△5,994
資 産 合 計	14,971	負債純資産合計	14,971

百万円未満は切り捨てて表示しております。

損益計算書

〔 自 平成27年4月 1日
至 平成28年3月31日 〕

(単位：百万円)

科 目	金	額
売上高		1,727
売上原価		1,588
売上総利益		138
販売費及び一般管理費		7
営業利益		131
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	
その他の収益	1	1
営業外費用		
支払利息	15	15
経常利益		117
特別損失		
訴訟関連損失	256	256
税引前当期純損失(△)		△138
法人税、住民税及び事業税	△385	
法人税等調整額	△44	△430
当期純利益		292

百万円未満は切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価の方法

有価証券

 其他有価証券

 時価のないもの

移動平均法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定額法を採用しております。

無形固定資産

定額法を採用しております。

(3) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

① 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

② 連結納税制度を採用しております。

(4) 会計上の見積りの変更

当社の親会社である株式会社ロイヤルホテルから当社が転借している土地について、株式会社ロイヤルホテルは平成 23 年 9 月に期間を 10 年とする事業用定期借地権契約を締結し、平成 33 年 9 月を目途とするリーガロイヤルホテル（大阪）の建替えを予定していたため、建物等については残存耐用年数を 10 年としておりました。

しかしながら株式会社ロイヤルホテルは、東京オリンピックの開催決定や訪日外国人客の増加による宿泊市況の活性化等、ホテル事業の置かれている状況を勘案した結果、建替えを延期し、当面現ホテルの営業を継続することといたしました。

これを受け、平成 27 年 11 月 17 日にリーガロイヤルホテル（大阪）の底地（持分の割合は森トラスト株式会社 90%、関電不動産開発株式会社(平成 28 年 4 月 1 日付で関電不動産株式会社から社名変更)10%)のうち森トラスト株式会社所有の共有持分全部について、株式会社ロイヤルホテルが信託受益権を取得し、同時に不動産管理信託契約上の所有者となる株式会社 SMBC 信託銀行及び関電不動産開発株式会社との間で事業用定期借地権設定変更契約を締結し、契約期限を当初の平成 33 年 9 月 29 日から平成 47 年 11 月 16 日に変更いたしました。

この結果、平成 33 年 9 月の建替えを前提とした残存耐用年数が実態と適合しないものとなったため、耐用年数の見直しを行い、残存耐用年数を 20 年に延長しております。

また、事業用定期借地権設定契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務についても、支払発生までの見込期間を延長しております。この変更により資産除去債務残高を 85 百万円減額しております。

これにより従来の方法に比べて、当事業年度の営業利益及び経常利益はそれぞれ 78 百万円増加し、税引前当期純損失は同額減少し、当期純利益は同額増加しております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 担保に供している資産等

建 物	2, 5 4 0 百万円
構 築 物	5 百万円
長期差入保証金	8, 0 0 0 百万円
計	1 0, 5 4 5 百万円

(注) 上記の資産等は親会社である株式会社ロイヤルホテルの金融機関借入の担保として差し入れております。

(2) 有形固定資産の減価償却累計額 1 1, 0 5 8 百万円

(3) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権	3 8 6 百万円
短期金銭債務	1 9, 7 0 0 百万円

3. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

営業取引による取引高

売 上 高	1, 5 4 2 百万円
仕 入 高	1 6 7 百万円
営業取引以外の取引高	1 1 百万円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末における発行済株式の種類及び株式数

普通株式	2 0 1 株
------	---------

5. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社は資金運用については短期的な預金に限定し、親会社からの借入により資金を調達しております。借入金への用途は運転資金及び設備投資資金であります。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

平成 28 年 3 月 31 日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次の通りであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表に含まれておりません。(注 2 参照)

(単位：百万円)

	貸借対照表 計上額(*)	時価(*)	差額
① 預金	80	80	—
② 未収金	472	472	—
③ 短期借入金	(7,800)	(7,800)	—
④ 未払金	(9)	(9)	—
⑤ 長期借入金	(12,092)	(11,974)	117

(*)負債に計上されているものについては()で示しております。

(注 1) 金融商品の時価の算定方法に関する事項

①預金、②未収金、③短期借入金及び④未払金

これらは、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

⑤長期借入金

長期借入金は固定金利のものについては、元利金の合計金額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算出する方法によっております。長期借入金のうち、変動金利によるものは、短期間で市場金利を反映し、また、当社の信用状態は実行後と大きく異なっていないことから、時価は帳簿価額と近似していると考えられるため、当該帳簿価額によっております。なお、貸借対照表の短期借入金に計上されております1年内返済予定長期借入金 11,908 百万円は、上記表では⑤長期借入金に含んでおります。

(注2) 長期差入保証金(敷金、帳簿価額 8,000 百万円)は市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため上表には含まれておりません。

6. 賃貸不動産に関する注記

(1) 賃貸不動産の状況に関する事項

当社では、大阪市北区において賃貸用のホテル駐車場ビル等(土地を含まず)及び東京都新宿区においてホテル用内装設備(建物躯体及び土地を含まず)を有しております。

(2) 賃貸不動産の時価に関する事項

(単位:百万円)

貸借対照表計上額	時価
6,186	6,634

(注1) 貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額を控除した金額であります。

(注2) 当期末の時価は、固定資産税当該年度価額に基づいて自社で算出した金額であります。

7. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生 の 主な原因別内訳

繰延税金資産	繰越欠損金	960百万円
	資産除去債務	171百万円
	その他	<u>202百万円</u>
	計	1,334百万円
	評価性引当額	<u>△1,334百万円</u>
	繰延税金資産合計	—百万円

繰延税金負債	資産除去債務に対応する除去費用	<u>△72百万円</u>
	繰延税金負債合計	△72百万円

繰延税金負債の純額 △72百万円

8. リースにより使用する固定資産に関する注記

オペレーティング・リース取引に係る注記

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

1年内	1,075百万円
<u>1年超</u>	<u>12,605百万円</u>
計	13,681百万円

9. 関連当事者との取引に関する注記

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合	関係内容	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社	(株)ロイヤルホテル	被所有 100%	当社所有資産の賃貸	賃貸収入 (注1)	1,542	前受金	74
			役員の兼任	連結納税に伴う受取額	954	未収金	386
			資金の借入	資金の借入	10,200	短期借入金	7,800
				借入金の返済	2,400	長期借入金	11,900
				借入金に係る利息の支払 (注2)	11	—	—
担保提供 (注3)	10,545	—	—				
親会社の 子会社	(株)リーガロイヤルホテル東京	0%	当社所有資産の賃貸	賃貸収入 (注1)	185	前受金	99
親会社の 子会社	(株)東京ロイヤルホテル	0%	資金の借入	借入金の返済	4	短期借入金	4
				借入金に係る利息の支払 (注2)	2	長期借入金	137
親会社の 子会社	ロイヤルホスピタリティサービス(株)	0%	資金の借入	借入金の返済	4	短期借入金	4
				借入金に係る利息の支払 (注2)	0	長期借入金	47

(注) 1. 賃貸料収入については取引実勢等を勘案し、交渉により決定しております。

2. 資金の借入については、経営状況を勘案して利率を決定しております。

3. 親会社の金融機関借入の担保として、当社が建物等及び敷金返還請求権を金融機関に差し入れております。

10. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額 $\Delta 28,230,817.54$ 円

(2) 1株当たり当期純利益 $1,453,309.85$ 円